

第1回琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会 議事録

1 日 時 令和6年9月26日(木)
開会：19時00分 閉会：19時49分

2 場 所 琴平町総合センター2階 大ホール

3 出席者 【委 員】 29名中27名出席

【事務局】 町長 片岡英樹、教育長 篠原好宏
生涯教育課(学校整備推進室長) 課長 真鍋 聡、
課長補佐 並木幸司、技師 川原聡明、地域整備課 平原徹
子ども・保健課 課長 西岡敏、課長補佐 大西孝幸
主任技師 宮本雄司

4 傍聴者 なし

5 議 事 (1) 委員任命
(2) 委員長・副委員長互選
(3) これまでの経緯について
(3) 今後の予定及び検討内容について

(事務局)

失礼します。定刻が参りましたので、ただいまより第1回琴平町立小学校認定こども園新築統合新築検討委員会を開催いたします。

本日司会を務めさせていただきます。学校整備推進室の真鍋です。よろしくお願いします。

琴平町立小学校認定こども園統合新築検討委員会設置要綱第6条第2項に、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとあります。

本日、委員さん、29名中26名の委員さんが参加出席されておりますので、この会が成立していることをご報告いたします。

また、次回から欠席されますときは、委任状を教育委員会の方に提出していただくようになりますので、併せてお願いいたします。

本会議は傍聴も可能な、公開した会議ですので、レコーダーによる録音、そして、議事録をホームページ等に公表いたしますのも併せてお知らせいたしたいと思います。

また、会議ですが、年度内に統合小学校及び認定こども園の建設は、建物の配置、構造計画などを決めたいと思っております。

従って、月に1回及び2回のペースで開催していきますので、時間を7時から8時半まで、と決めさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、会議を始めさせていただきます。

開会に先立ちまして片岡町長よりご挨拶をお願いします。

(町長)

皆さんこんばんは。本日は琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて本町の統合小学校の問題は、もう20年来の課題でありまして、琴平町にとって重要かつ喫緊の課題であることは、皆様もご承知の通りだと思います。これまでの経緯につきましては、後程事務局より説明がありますが、今年の1月に町長、また、町教育委員会で構成しております、総合教育会議におきまして、整備基本計画、基本方針を策定いたしまして、3月の町議会におきまして、関連予算のご承認をいただきました。

そして、今年度になりまして、建設予定地の公表を行い、現在は、基本設計の事業者選定と、用地の交渉を進めているところでございます。このような状況の中、新築検討委員会を設置いたしました。その目的といたしましては、令和11年の開校開園を目指しまして、統合小学校及び認定こども園の新築事業において、町民が望む新しい施設の姿をまとめていただき、それを基本設計に反映することとでございます。

検討事項といたしましては、新築事業の基本設計策定に資するための調査検討に関すること、そして新築事業の推進に関することとでございます。私たちが目指しますのは、園児、児童が行きたいと思える施設、また、保護者の方々が通わせたいと感じる施設、そして、町民の方々が誇りに思う、そういう施設であると私は考えております。これらを実現するためには、保護者目線、こども園や学校の先生目線、そして地域の方々の目線でご議論いただきまして、利用のしやすさ、安全性、防災機能、多目的での利用、そして、新しい時代に対応した施設の充実など、様々な観点からご検討いただきたいと思います。本日の委員会の立ち上げを皮切りにいたしまして、設計業者の決定後は、具体的な案をもとに、建設的な協議を重ねていただくようになります。

皆様には、琴平町の将来を見据えた子どもたちのために、教育・保育の環境の充実を、また町全体の発展のために、主旨を汲み取りいただきまして、お知恵と、お力添えを賜りますよう、心からお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして委員の任命ですが、任命状につきましては、あらかじめ机の上に置いておりますので、ご了承ください。続きまして自己紹介になります。所属とお名前を言っていただければと思います。お願いします。

～委員及び事務局自己紹介～

(事務局)

それでは、委員長、副委員長の互選に入ります。琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会設置要綱第五条の1項に、検討委員会に委員長・副委員長を置き、委員の互選により選出するとありますが、いかがいたしましょうか。

はい、ありがとうございます。

事務局一任とございました。

事務局案として委員長には、琴平中学校の北岡校長先生、そして副委員長には、園長校長会会長の象郷小学校氏家校長先生にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。それでは委員長・副委員長、前の席をお願いします。それでは委員長・副委員長、一言ずつごあいさつをお願いします。

(委員長)

失礼します。委員長をさせていただくことになりました、琴平中学校の北岡と申します。私は、琴平小学校の卒業生でありまして、私が琴平小学校を通った最後まで、2階建ての木造校舎でありまして、卒業するときに、体育館ができました。私が卒業した後、私の弟や妹の頃に前の校舎ができましたが、もう40数年前になるというのを改めて思うと、恐ろしい気がしています。

ただ、新しい校舎をしっかりと作っていくということで、役割いただきましたので、今の子ども達はもちろんですが、先ほど町長さんのお話にもありましたが、将来40年50年は少なくとも使うはずですので、そこを見通した、良い物になるように、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

(副委員長)

失礼いたします。副委員長を仰せつかりました象郷小学校の校長の氏家です。

現在、住居はまんのうに住んでいますが、実は生まれは琴平です。小学校の2年生まで、琴平小学校の木造の校舎の方に通っております。こういう本当に大きな、非常に大切な会の副委員長を仰せつかったということで、皆様と一緒に気持ちを一にして、会の中で一緒に考えさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局)

ここからの議事の進行につきましては、北岡委員長にお願いいたします。

(委員長)

それでは本日の資料に沿って進めていけたらと思います。今3番までが終わりましたので、次4番になりますが、これまでの経緯について事務局よろしくお願いします。

(事務局)

失礼します。それでは生涯教育課の並木です。座って説明させていただきます。お手元の資料の右上に資料1と書いている資料をご覧ください。

それではこれまでの経緯につきまして、ご説明いたします。

1回目の基本方針であります、これは平成20年度でございました。平成20年の1月に、小学校の適正規模適正配置に関する答申を受け、平成20年度に琴平町立小学校の統合に関する教育委員会の基本方針を策定し、平成22年度に琴小と榎小を統合し、その10年後の令和2年度に象小を統合するという計画を進めておりましたが、これにつきましては実現できませんでした。

次に2回目の基本方針でございます。これは8年後の平成28年度でございます。このときに、平成28年3月に小学校の適正規模適正配置に関する答申を受け、平成28年度に新たな1つの統合小を建設することや、老朽化した琴中を早期に改築すること、教育委員会の基本方針を定め、琴中につきましては、令和2年度に完成しましたが、統合小につきましては、見通しが示せていませんでした。

続きまして、琴平町公共施設整備構想(案)の作成でございます。これは令和3年度でございました。早期に見通しを示すため、令和3年度に小学校、幼稚園、保育所、保育所及び庁舎の全体的な整備構想を策定しましたが、具体的な整備段階には至っておりません。

なお、令和4年度から、幼稚園、保育所は、北と南の認定こども園として開園しました。3回目の基本方針、これは昨年度、令和5年度でございます。

激甚化する災害や人口減少等を考慮し、早期に具体的な整備を進めるため、町長及び教育長から、保護者や学校関係者、地域住民から構成される学校等再編整備検討協議会、これは委員28名により諮問いたしまして、7月より全9回協議会を開催し、12月1日に小学校及び認定こども園の再編整備に関する答申書を町長及び教育長に提出しました。

その答申を参考に、同年度の1月に、琴平町立小学校・認定こども園再編整備基本方針を町の総合教育会議にて決めました。方針内容といたしましては、琴平、榎井、象郷の3つの小学校を1つに統合するとともに、南北の2つのこども園を1つに統合し、町の地理的真ん中あたりに土地を購入し、町立統合小学校及び町立統合認定こども園を併設し、いずれも新築することとし、現在、土地交渉や設計業務の発注準備等を行っております。

なお、保護者説明会及び住民説明会を経まして、その後、必要な予算を令和6年3月議会に提案いたしまして、承認を受けております。その後、令和6年4月から建設予定地の検討を行い、場所の方を決定いたしております。詳しいことにつきましては川原の方から説明します。

(事務局)

資料 1 の裏面をご覧ください。

建設予定地についてですが、裏面の左側の図面、琴平町全体の地図の部分です。琴平町の居住部分を対象としまして、枠組み部分は除きます。象頭山の部分は除きまして、南北の東西の計 4 ヶ所から半径 2 キロの円を描き、すべての円が重なった部分を町の地理的な中央と考えました。北側でいうと、黄色いポツと青いポツで、南側ですと、緑と赤のポツで、そこから 2 キロの円を描きまして、真ん中部分を探しました。その中から建設予定地を探しまして、右側の航空写真の場所でございます。全体で言いますと赤い丸印がついているところです。写真がアップなのでわかりにくいかもしれませんが、国道 319 号と県道の部分に近いところになります。県道からでいいますと県道の進入の部分の右側に光賢寺というお寺があります。その西側約 2.1ha ぐらいある土地を建設予定地として定めております。

続いて、統合小学校・統合認定こども園の整備スケジュールを説明します。下側のスケジュールをご覧ください。令和 6 年度から、統合認定こども園・統合小学校ともに、用地買収、基本設計を行います。令和 7 年度に入りまして、実施設計、造成工事に移ります。本格的な校舎、園舎の工事につきましては、令和 8 年度から、こども園の工事、校舎の工事に入ります。10 年度からはですね、引っ越し、体育館の新築等を経まして 11 年度からの開校を目指すと、いうことになっております。以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございました。今の 4 番でこれまでの経緯についてということで、これまでの経緯及び裏面の建設予定地、そして今後の整備スケジュールの説明をいただきました。これらの点につきまして、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いします。いかがでしょうか。よろしいですかね。

これからちょっとずつ回を重ねていくようになりますので、いろんなご意見これから伺いするようになると思いますので、これまでの経緯についてということについては、これで終わらせていただきます。

続いて、5 番の今後の予定及び検討内容について、事務局よろしくお願いします。

(事務局)

はい。今度、右肩資料 2 というのをご覧ください。

まず、検討内容でございますが、先ほども言いましたが、統合小学校・統合認定こども園の建物配置、それと構造計画について、あと、実際に建物の平面、間取り図の計画について皆さんに検討していただきます。

検討委員会のスケジュールになりますが、本日が第 1 回目 9 月 26 日ですが、だいたい 7 回ぐらいを予定いたしております。第 2 回が 10 月末頃となっておりますが、日程が決まりましたら、ご案内差し上げますので、またその日に集まっていただくことになります。

第2回目以降に、建物の配置計画等、構造等を検討していくつもりでございます。また、設計会社の方が、10月の初旬、来週あたりに決まると思います。来週、第2回検討委員会から、そちらの設計会社の方も入っていただいて、内容を検討することになります。

その前に、小学校の教員、またこども園の先生方から意見を集約いたしまして、その配置計画、平面計画にも参考にする予定としております。

また、構造や平面計画等を協議する際に、他の市町、例えば、琴平町の児童数、園児数と、よく似たところの視察も考えておりますので、時間がある方は一緒に参加していただけたらと思います。

次回から、建物の配置計画や、構造計画の検討を行いますが、基本的には、町と設計会社が考えた素案を第2回から提出致しますので、その素案を見ていただいて、様々ご意見を頂戴したいと思います。

前回も同様に、やはり全体の中で意見というのはなかなか出にくいので、次回から、グループ、4つのグループに分けさせていただきまして、グループ討議をしていただき、その中で意見をいろいろ言ってもらおうと考えております。

本日、参考資料といたしまして、琴平町立統合小学校・琴平町立認定こども園の基本構想と、基本計画というものを添付しております。

また、これは次回提出する町と設計会社が作成する素案の基となっておりますので、帰ってご一読していただけたらと思います。よろしくお願いします。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。資料2の方の①検討内容、今後のこの会で検討する内容、それと②の方でこの検討委員会のスケジュールと、ということで説明をいただきました。このことについてご意見、ご質問等ないでしょうか。

(議員A)

まず、グループ討議、わかるのですが、それだったら、もう一部分しか我々は参加できない。全体的に。グループはそのグループだけしかできない。そこがおかしいなと思って。全員でそれをするべきだと思います。

(事務局)

もちろん、同じ議題で話してもらって、それを4つのグループで考えてもらうので、すべてのものに対して、皆さんの意見を言うていただくつもりでございます。

(委員長)

今の説明ですと、話し合うテーマについて、4つのグループが別々のことをするのはなくて、1つのテーマについて、大勢で話しても意見が出ないだろうから、少人数でそれにつ

いて、意見を交わしてください。そのあと、私のグループではこういう意見が出たよ、こういう意見が出たよって集約するので、参加できないということはちょっと当たらないのでは。

(議員A)

少ないグループだったら意見が出るけど、大きいグループだと出ないことはちょっとおかしい。

(委員長)

でも、中学生を30何年見てきますと、真実はそうだろうかと、小さなグループでないとなかなか意見が出にくい、大きいところでは発言しにくいっていう方はいます。そうすると、どうしても声の大きい人の意見だけが通ってしまうことになるところはよくないと思います。せっかくですので皆さんのご意見が出るようにしたほうがいいのではないかなと思います。

(議員A)

それで声の大きいのが通ったのか。はい。いいです。

(委員長)

他いかがでしょうか。

(教育委員A)

失礼します。いよいよスタートというようなことでございます。

新しい統合小学校ができる、こども園ができるということでございますので、後はどういうベストな学校を作っていくかという検討会だと思っております。

その中で、この今の琴平町に合った形の新しい小学校を作っていく。これももちろんそうですが、過去10年、県下でも、統合小学校というのが数多くできています。私も視察に行かせていただいた小学校もあります。山本町の方ですけれども、あそこも4校が、合併して、統合したということで、行って私も非常に感動と感銘を受けたというようなところであります。

非常に自然にやさしい木の作りで、木の香りのする非常にいい小学校でした。ですので、そんなに私も大きく県外に行ってですね、あそこすごいよなというところを見学しなくても、県内でこの過去10年間で素晴らしい学校ができています。

それはですね、やはり作ったところも設計段階から研究をして作っています。

ですから、できましたら、本当はそういったところを、先ほど真鍋課長の方からもご説明ありましたが、視察に行くのが一番いいのですが、なかなかそういった時間が取れない方々

もいると思いますので、事務局側としたらですね、そういったところを、事前に調べていただいて、もちろん予算も含めてですよ。こういう作りだというのを、書類関係で見たら、わかる、簡単にわかるような形のものがあれば、そういう記録が過去 10 年ぐらいやったら、市町、また教育委員会に残っていると思いますので、入手していただいて、全体像、例えば、写真とかを入手していただいて、今回のこの検討事項の添付書類として、進行していく上では非常にプラスになるかなというふうに思いますので、どうかその辺のところをちょっと調べていただければありがたいかなというふうに思っています。以上です。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。また、近々ですね、そういう資料を取り寄せまして、今回の検討委員会の中の資料として付けさせていただこうと思います。

(委員長)

はい。お願いします。

(南こども園 園長)

はい。今資料を取り寄せていただくという話、大変いいなと思いますが、先日うちの職員が仲南こども園の研修・展示会に行きました。施設を見てきてっていう話をして、実際に見に行くと、今の園にこんなものがあったら子どもたちが安全に遊べるなとか、こんなものがあればというのがあったので、資料プラス、私はやっぱり視察に行かせてほしいです。

以上です。

(保護者K)

学校施設ではないのですが、他のどんな企業でも、新しいものを建てるんですけど、良かれと思ってつくったものが、結局利用されないとか、建設段階、設計段階ですごくいい場所だと思った場所が、すごく使い勝手が悪かったりとか、邪魔になるとか、つくってみてわかることもあると思うので、実際、設計の過程で、この施設を見学する、プラス、そこでこの学校教育現場で困ったことは実際ないのだろうかというところで、デザイン性であったり、木の良さもあると思うんですけども、それによって何かしら不便が生じてないんだろうかというのが、正直使っている方のご意見を聞きたいなと思います。

(委員長)

はい。ありがとうございます。今いろいろご意見いただいて、私、令和 2 年に琴平中学校に赴任しましたが、全く今の新校舎を開校したときに、赴任をしまして、旧校舎がまだあって 1 年目、私の卒業した、思い入れの深い校舎が壊されるのは辛かったのですが、それ見るとみんな見に来てくれるといいなあ綺麗だってくれるのですが、使ってみると、こうこう

こうしといたらよかったとか、必ずあります。ですから、今言っていたように、できれば、さっき説明もありましたけど、どこか見学できる場所があれば、見せていただくとかいうのがやっぱり大事、その時に、実際に使っている方が、ここはよかったけど、ここがちょっと困った。そういった事を聞くことが大事かなと。新築が後々になってしまいました、後から建てるものの強みはそれしかないと思うので、良いことばかりではなくちょっとここはまずかったな。といった部分を学びたいと思いますので、ぜひそういうのは、事務局の方にも言って、意見を聞いてもらえたらと思います。

また、今回、小学校とこども園を一緒にやりますから、仲南はね、仲南小学校は、昔は仲南中学校で、それを使っているので一緒に建てず、こども園だけきれいにしています。

なので、できればそのこども園と小学校が併設されて規模も似ているとか、そういったところが一番参考になるのかなあというふうに思いますので、その辺りはまた事務局の方にも要望したいなと思います。

(議員B)

やはり今回もそうですけど、やっぱり検討委員会です。いわゆるファシリテーションをしないといけない。委員長にはファシリテーターとして決をとるようなことは絶対しない。

できるだけ皆さんが大変良い意見をたくさん出していただけるような形を、環境として取っていただくような形でぜひともお願いしたい。それともう1件は、やはり今、子どもの出生率がかなり減っております。10年、20年のスパンを考えながら、これから子どもが少なくなる環境の中で、いかに先生方とか、今子どもを育てる方々の意見を、充実して入れていくかということに対してはもう十分、反映していただくような形をとっていただきますようお願いしたいと思います。

もう他の市町に比べても、かなり人口減少が進んでいる中で、私の持論としては、いわゆる小学校なんかは9年生の義務教育学校っていうのが、ベストだと思っとったんですけど、それはなかなか、町の方ではなかなかそういうことには反映していただけなかったんですけど、そういった意味でもこれから子どもの数が少なくなるところで、どういう未来の学校をつくっていくかということについては、もうぜひとも、委員長さんの方をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(委員長)

はい。ここですべて決定するというのはもちろんね、そういう委員会ではないので、そういうご意見を集約して、最終的に決めていただくのは、町であったり町議会であったりというところに、提案をするというような形です。

今おっしゃっていただきましたけど、先を見据えてはもちろんですし、そういったところも踏まえて皆さんのご意見を集約するという形で、これでなければならない。ということを決めてここで手上げていうようなことは、そんな必要ないと思っております。

先ほどありましたが、小グループでそれぞれのお持ちの意見をしっかり出していただくというのが大事なかなと思います。

皆さんのご意見をいただきながら進めていこうと思いますので、よろしくお願いします。

(議員C)

私、琴平町議会の議員で、来させていただいているつもりですが、1つ心配なことがあります。何かと申しますと、やはり皆様方ご存じかと思いますが、最近非常に物価が高くなっております。新聞なんか読んでいたら、高松市の塩江の道の駅、建設構想。それも180%ぐらいの建設コスト、当初予算から比べますとね。それから、朝出たニュースで、中野サンプラザって、中野区かな、駅の前に大きい建物があります。その開発構想で2000億ぐらいの予算を組んでいたのが、それも倍ぐらいの予算になって、かなり高騰しているということを伺っております。

皆さん方は議会の中で、予算がどういうふうに流れていっているかというのは、あんまりご存じじゃないと思いますが、この9月議会でも、基本構想、それから実施設計のコスト自体もかなり上がってきています。ですから、その辺りも含めて、議論の対象になるかならないかわからないのですが、本当に新しい町長も長年の懸案事項である、小学校の統合とこども園の新築ということに対して、情熱注いで、それぞれここにおられる方も、非常にいいものを作らないかんといいことで、お集まりいただいているとは思いますが、やはりコスト的なものも一応考えていただく必要もあるのではと、今建てるのが本当に一番コストが高いときじゃないのかなと思っております。

それとあと、こんなこと言うと議会みたいになるのですが、庁舎の問題もありますし、あとハード事業はかなり遅れている、当町は遅れておりますので、これにこれだけにその大まかな予算をどんと使うというのは、私としては議員としては反対という形に取らざるをえないです。

ですから、そういう形で、しっかりといいものをつくっていただきたいのですが、やはりそのコスト面も一応考えたものを協議していただければと思っておりますので、反対ではないですからしっかりと議論していただいて、やっていただければと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

(委員長)

はい。ありがとうございます。コストについては、私も町民ですので、私も税金払っていますので、何でも無尽蔵にあるとはまったく思っていない。これだけ人口も減っていますからね。

ただ、そういうのを念頭おきながらなんですけど、最終的には町や、議会の方でその折半というか、そのコストにみあったもので調整をされるのだろうと思います。

ここのご意見いただくときに私の気持ちとしては、最初はもう無尽蔵にコストがあると

はまったく思っていないんですが、いいものを。という気持ちでやっぱりご意見をいただいて、そういう中で、実際コストにみあった中で、ここは設けざるをえないなとかそういった辺りはもう具体的に、もう町教委であったり、議会だったり、町の方で考えていただくべきかな。

最初にお金のこともわかりますが、それを言ってしまうとなんか小さくなりすぎても駄目かなと思うので、気にしながらも、こんなんできたらいいね。という意見を、最初は出していただけた方がいいのかな。

最終的にはコストのことがあるのは 100 も承知ですが、夢のように全部できるとは思いませんけど。皆さんもそれはお分かりだと思いますが。

できたらこういうのがあったらいいな。という意見をやっぱり最初は出していただけたら。当然それは無理だなというのがあるとは思いますが。

(議員 A)

つい最近、高松市の香南小学校が 4 月から、規模もだいたい同じくらいで、生徒数も、そこを一つ研修先を選んでもいいと思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。香南小学校、だいぶよく似た規模だろうと思います。

私もちょっと聞いたところ、西でいうと、観音寺の豊浜小学校が、こども園も併設で、もうここ 2 年ぐらいで建てていますので、あそこも中学校でいうと、豊浜中学校も 2 クラスなので、琴平町とほぼ規模が一緒なので、良いと思っています。

(議員 A)

一か所だけでなくて。

(委員長)

そうですね。はい。

(議員 A)

もう一つ言いますけども、実際このタイミングで厳しいですけども、町長からプロポーザルで校舎を建てるという、私は当初から反対しているんです。

プロポーザルというのは、ある程度お金を持っているようなところが考えることであつて、琴平町がそういうことを考える次元ではないと思う。要するに、プロポーザルなんかは、絶対に消えます。

というのは、建設会社、設計会社、やっぱり、いい工事をやらないといけない。やっぱりお金が超えてしまう。プロポーザルは今でも反対です。お金は本当に琴平町は厳しい。

(委員長)

はい。お金のことであるとか、建設の仕方とかのプロポーザルっていう形でやるかどうかについてに関しては、また後程当局の方とか、そちらの方で検討いただくということで、我々のこの検討委員会の委員としては、そのプロポーザル云々に関しては関係ないことですので、これについては町当局や議会さんの方でお考えいただけたらいいのかなと思います。はい。

(保護者 J)

前年度の会に参加してないので、検討委員会のスケジュールについて、建物の配置とか、平面の間取りとかがありますが、スクールバスとか、登校中の、例えば、ここが危ないとか、横断歩道がないとか、そういうのがこの会で話し合われるのかいうのをお聞きしたいのと、こども園に支援センターが併設されるのかというのをお聞きしたいのと、あと、この会が今関係するのは子どもを通わせている保護者だと思うんですけども、保護者の方の意見をたくさん聞きたいですし、現場で子どもをお願いしている先生方の意見も聞きたいです。

議員さんは私たちの声を代表してつくってくださるという立場にあるのかなと思うので、議員さんの意見もたくさん聞きたいですけど、私たちの声をたくさん聞いて頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

(委員長)

はい、ありがとうございます。2キロ以内ではあるけれども、登下校のときはどうなるのかとか、どこが危ないとかそれは保護者の方にとって一番関心があることかもしれませんので、そういうのは事務局の方にも要望しながらできたらいいかなと思います。

また、保護者の委員さん方が、それぞれのこども園とか小学校の PTA の方とかが多いと思います。その中でまわりの保護者の方からも意見を集めたり、聞いていただけているとすごくいいかなと思います。

(事務局)

事務局から補足させていただきます。先ほどのスクールバスですとか、皆さん心配されている校名であったりとか、制服であったりとか、そういうソフト面についてですが、また次来年度に、準備委員会というものが立ち上がります。

そちらの方で、今後考えていきます。今回はその建物等のハード面、具体的には、例えば、プールをどうするとか、そういうハード面に対しての検討委員会になりますので、先ほど言われたソフト面につきましては、来年度、また検討委員会を持たせていただきます。

(委員長)

というふうに分かれているそうです。今回のこの検討委員会はハード面ですね。

校舎、その他の設備とか施設とか、そういったことが中心になるようですので、そういった面で、他の保護者の方とかのご意見を聞いていただいたりしておくといいかなと思います。

(事務局)

失礼します。こども園の方の立場から、ちょっとさっきの支援センターという話がありましたが、今回の会は、こういう格好にしたいとか、子どもにこういう環境を与えたいというハード的なものです。

当然、そのハードを決める参考となるのが、皆さんの意見であったり、先生の意見です。

こういう間取りが。とか、こういう施設があればいいのに。とか、こういう部屋があったらいいのに。という意見を出していただくのがこの会の趣旨です。

要はもう設計図を作るための意見を出す会というイメージですので、今言っていたいたような意見をどんどん出していただいて、それを実現できる、さっき言った予算の背景もありますが、そういうのを調整しながらですね、最終的にいいものをつくっていきたいと思いますので、そういう意見をどんどんお願いします。

(議員B)

先ほど保護者Jさんがおっしゃったように、今青写真っていうか、駐車場の問題が入っていない。どこにできるんですか。

やはり国道、県道に隣接したところで道路入って中になるので、そういった意味でのいわゆる駐車場、安心して止める駐車場というのはどこにするかっていうところまでは、提案を出していただいた方がいいのかなと思います、今回この中見たらそれが入っていない。そのあたりも加味していただきますようお願い申し上げます。

(委員長)

はい。たぶんこのハードのときに校舎に合わせて、そういった駐車場の位置であるとか、どういう進入をしてくるかは、次回に入ってくるみたいですので。はい。いかがでしょうか。

今いくつか、ご意見ご質問があって、そうなのかって、これ初めてわかったみたいなこともあったかと思います。

今後、主に新校舎、新園舎この建設ですね、ハード面に関して、今後検討していくということで、ご意見もいろいろいただきましたが、参考にできるところなんかはやっぱしっかり参考にしながら、いいものをとということで、もちろんそこにはコスト意識も必要ですので、学校でも一緒なんですけど、コストがあれば何でもできるんですが、なかなかそうはいかないので、そういうところも考えながら、これからいろいろご意見をいただいて、先ほど申し

上げましたけど、まわりの方のご意見もしっかり聞いていただいてですね、それを反映させていけたらいいかなというふうに思います。

他はどうでしょうか。はい。また追々ね、回を重ねていきますと、これはどうなのかというご意見ご質問が出てくるかと思います。

それはその都度その都度質問して頂いたり、そのために意見を出しやすいように小グループというようなことで、事務局から提案もありましたので、2回目以降、どんどん議論が深めていけるように、様々なご意見をいただけるようにしていきたいと思います。

今日のところは、この5番の今後の予定及び検討内容については、これでちょっと終わらせていただけたらと思います。

では、6番の方になりますが、会を閉じていくということで、閉会の挨拶になりますが、閉会の挨拶を篠原教育長にお願いしたいと思います。

(教育長)

はい。失礼いたします。本日は、大変お疲れのところ、また夜分お集まりいただきまして、まことにありがとうございました。

担当の方からご説明いたしましたように、これから、学校・こども園の新築に関して、いろいろとご意見をいただき、子どもたちにとって、琴平町にとって、いい学校・こども園を作っていきたいと思っておりますので、きたんのないご意見をよろしくお願いしたいと思います。なお、今ご意見いただきましたのをお聞きしますと、やはり、子どもたちのためにいいものを。という熱意が伝わってきたような気がいたしますので、こういったものをしっかりと反映させていければと思っております。

また、次回からは具体的な図面等が出てくるのではないかと思います。

今の段階では、空想の世界での議論になると思いますので、やっぱり具体がないとだめだと思います。そういった資料等についても、事務局の方で十分に準備をさせていただいたり、先ほどご意見が出ました、視察であるとか、資料の取り寄せ、こういったものについても、適宜行いたいと思っております。

琴平の未来を見据えた学校・こども園の建築ができますように、皆様方の力とお知恵をお借りしたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(議員B)

補足ですけど、今回、レジメに穴があいてないんです。せっかくいただくのに、穴があいていないから、これからはできるだけとじられるように、事務局の方お願いいたします。

(委員長)

では、以上をもちまして、第1回の琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会を終わらせていただきたいと思います。また、2回目、どうぞよろしくお願いします。本日はどうもお疲れ様でした。